

C-1 指導案

- (1) 題材名 短歌を味わう
- (2) 本時のねらい
- ・短歌への興味・関心を持って学習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
 - ・短歌の言葉から情景を再構築し、主題に迫る。(読む)
- (3) 生徒が自ら考える授業をつくるために
- ・短歌に用いられている言葉の検討をうながすような発問を授業の中心にすえたい。そのためにも、それぞれの短歌の音読練習にもしっかりと取り組みたい。
- (4) 準備・資料等 短歌を句ごとに書いたカード
- (5) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（観点，方法等）
7分	・昔の人が短歌で言葉遊びを楽しむことがあったことを知る。	・クイズ感覚で楽しく考えられるよう、細かい説明は行わない。	
4分	・北原白秋の短歌の音読練習をする。	・しっかりと声を出している生徒を誉め、音読しやすい雰囲気を作る。 ・暗唱できるよう、カードを使用する。	【①関・意・態】 ・しっかりと声を出し、音読をしている。(観察)
7分	・短歌をノートに視写し、難しい言葉の意味を辞書で調べる。 ・短歌に表現されている情景を読み取る。		
30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・季節はいつですか。時間帯はいつですか。 ・話者はどこにいるのですか。 ・話者はどんな体勢で色鉛筆を削っているのですか。 ・話者の目に一番強く映っているものは何ですか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どこで区切って読めばいいのかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・この歌のPRを作りなさい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠もノートにまとめるよう指示する。 ・考えのまとまらない生徒には、アドバイスをする。 ・他の人と意見を交換することで、自信を持って発表できるよう留意する。 	【④読む】 ・用いられている言葉をもとに短歌の情景や心情を読み取っている。(発言・ノート)
		・視点(表現上の工夫・リズム)を持たせ考えさせる。	
2分	・本時のまとめと次時の予告を聞く		